第三者委員	奥田 貫介 (評議員) / 有松 徹 (評議員)	第三者委員 報告日	2025年6月23日 2024年度報告を実施
-------	--------------------------	--------------	------------------------

つぼみ 保育園	苦情解決責任者	小島千枝(園長)	苦情受付担当者	西村美香(主任)
	受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
	対象受付なし			

さわらび 保育園	苦情解決責任者	三笠 良子(園長)	苦情受付担当者	荒津 佐知子(主任)
	受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
	2024/9/12 受付番号 38号	園児 父	夕方のお迎えの前に一人で玄関ドアから出ていた。気が付いて他の保護者が声をかけ園内に入れて保育士に知らせてくれた。その後お迎えにきた母親に報告し謝罪する。帰宅後母親が父親に出来事を報告する。話を聞いた父親から「来園して詳しく内容を聞きたい」という電話がありその日のうちに園長、主任、担任が対応する。	本人には「一人出ていくことは危険である」ということを改めてよく話す。父親が来園する前に防犯カメラで詳しい状況を把握する。行動の詳細を保護者に伝え、その上でどこで職員が本児の行動に気がつくべきであったかなどの反省点と改善点を保護者に伝え改めて謝罪する。保護者の方からはご理解をいただく。
2024/9/17 受付番号 39号	園児 匿名	保護者から有松委員に電話があり、委員より園長へ苦情の内容をお知らせいただく。 現在4歳児、今年度になってお迎え時のクラスの職員の対応に不信感を抱いている。挨拶などいい加減に扱われていると感じている。何年間か登園させてこのような感じを受けたことはなかったので園として対応をしてほしい。	挨拶は常日頃より園児に対しても保護者に対しても丁寧にするようにと言っているが、このように不信感を持たれる出来事が起こったことを受け、各自が自分自身のことと考え行動を見つめなおす様に話す。信頼して子どもを預けていただけるために丁寧な言葉がけと行動を心がけ、一人ひとりが自覚することを促し、全職員でこの問題を共有し意思統一をする。	

新宮 つぼみ 保育園	苦情解決責任者	藤井 由理(園長)	苦情受付担当者	土谷 賢吾(主任)
	受付年月日	申出者	受付内容	解決結果
	2024/6/3 受付番号 44号	園児母	くじで役員となったが、子どもに重度の障がいがあり余裕がない。今年は仕方がないと考えているが、来年度から子どもに障がいがあるなど事情がある場合は、役員にならなくてもよいように、ルールを変えてもらいたい。という内容の苦情を第三者委員の奥田委員に電話で訴えてきた。	奥田委員より「①保育園と父母の会とは組織が別ゆえ保育園でルールを作って父母の会に強制することはできない②役員については就任の義務はない。とは言え、園の運営に協力してもらっている父母の会なのでルール改善に協力してもらえないか園として検討する」との回答をする。その後、園長が直接当該保護者の意見を聞き、その旨を父母の会会長に伝えるという事で、納得される。
2024/7/1 受付番号 45号	園児母	歯科反対咬合治療中の児童が乳歯をなるべく抜けてほしくなかったのに、一日保育士の他児父の肘が当たり、乳歯が抜けてしまった。そもそも一日保育士月間は反対、資格を持っていない人が子どもに関わるのは危険だと思う。何で休日に保育士として働かなければならないのか。他の人も同様に言っているので一日保育士月間をやめてほしい。保護者に是非を問うアンケートをとってほしい。	法人内で相談し、アンケートは取らない意向を伝えると園児母は納得されず、第三者委員の有松委員に苦情を訴える。①事故が起きたという理由でのアンケート調査の必要はない。②一日保育士という名称ではあるが実際は保育士としては計上してはいないこと。その旨を園児母に話してもらおう。園としては、一日保育士月間の主旨、保護者の対応、注意事項など職員間で再度確認し合い、全職員に周知する。また、その考えも園だよりで発信する。	